

木もれ陽

文責 平川 千秋

「県民の日」

今日6月15日は県民の日です。“県民が、郷土を知り、ふるさとを愛する心をはぐくみ、共に次代に誇りうるより豊かな千葉県を築くことを期する日”として、昭和59年3月に制定されました。木更津県と印旛県が合併し千葉県が誕生したのが1873年6月15日。また、昭和58年に千葉県の人口が500万人を越えたのを記念して制定されたということです。

(ちなみに令和2年5月1日現在の千葉県の人口は628万5143人、成田市の人口は13万2386人です。)これまで県民の日は千葉県の公立学校は休校となっていましたが、今年度は、臨時休校が続いたため授業時間確保の観点から登校日となりました。



さて、皆さんは「県民の日」にどんな思いを抱いていますか？そして、自分の住む千葉県についてどんな印象を持っていますか？

生まれたときから千葉県に住んでいる人も他の都道府県から引っ越してきた人もいることでしょう。随分前のことになりますが、私が通っていた高校には茨城県から通学している仲間がいて、よく「茨城県民歌」を口ずさみ、「今日は茨城県民の日なのに、お休みじゃないのは悲しい」と語っていました。彼らの「茨城愛」が強いことに驚いたのを思い出します。

自分が住む地域のことをよく知って、愛着を持ち、地域のために貢献することができれば、地域も活性化していくと思います。皆さんが住む玉造地区・神宮寺地区・八生地区・公津地区にもさまざまな地域行事があり、ボランティア活動も根付いています。これから数十年先、世界に羽ばたくであろう皆さんが今と同じところに住んでいるかどうかはわかりませんが、生まれ育ったこの地域、そして成田市、千葉県のために今できることをほんの少しずつでもやっていければ中学生としての責任が果たせます。それが将来必ず、自分の住む地域作りに生かされると思います。



「梅雨入り」

先週は気温が高くなり、今年初の真夏日を記録しました。身体が暑さに慣れていないので、体調を崩した人もいたようです。いよいよ梅雨の季節に入りました。マスクを着けての生活が続きます。体調管理に気をつけて生活し、“雨を楽しむ心のゆとり”をもちましょう。

「教育実習」実施中

先週から2名の教育実習生が来校しています。冬木亮さん(英語科・1C)と加藤麗奈さん(数学科・3C)です。二人とも皆さんが学ぶこの校舎で、皆さんと同じように中学校時代を過ごした玉造中学校の先輩です。今、職業選択にあたり、“学校の先生”を目指しているということで、必要な資格である教員免許状の取得と教員採用選考の勉強に頑張っている最中です。3年生は数ヶ月先に進路選択を控えています。先輩から直接タイムリーな経験談が聞けることでしょう。そして、自分で決断することに対しても参考となるお話が聞けるはず。先輩、どうぞよろしくお願いたします！」

